

遠州灘海浜公園篠原地区道の駅整備事業について

1 現在の状況

- ・ 県により遠州灘海浜公園篠原地区の整備に向けた基本計画の作成が進められている。
- ・ 現在は公園整備プランが選定され、メイン球場の規模・構造の検討が行われている。
- ・ 本市は令和5年度に、交流人口のさらなる増加や、県西部や県下全域のスポーツ振興、新たなにぎわい創出などの波及効果を広げていくため、道の駅を設置する場合の整備候補エリアや導入機能等について検討した。

2 道の駅の検討

(1) 前提とする考え方

- ①登録要件から：快適に休憩できる、観光資源等の発信、地域産業振興への寄与、防災機能
- ②事例調査から：様々な利用者、アクセス性、官民連携
- ③本市特有の状況から：バイク利用者、再生可能エネルギーの導入、ZEB化、多目的ドーム型スタジアムとの連携、公園周辺のにぎわいづくり

(2) 整備候補エリア

公園と連携した拠点づくりや一体的に整備することによる集客の相乗効果の観点から、国道1号篠原東交差点付近を中心とした一帯を整備候補エリアとする。



図1 整備候補エリア

(3) 施設規模、導入機能、概算事業費

			最小案	モデル案	最大案
敷地面積 (㎡)			29,000	39,000	39,000
延べ面積 (㎡)			4,250	4,700	8,600
導入機能	A 登録要件	駐車場（小型車 212 台、大型車 75 台、自動車計 287 台、自動二輪車 80 ～100 台）、トイレ、休憩施設、情報発信施設、防災施設	○	○	○
	B 基本機能	飲食施設、農水産物等直売所、特産品販売所、屋根付イベント広場、レンタサイクル・サイクルステーション、芝生広場	○	○	○
	C-1 付加機能	子どもの遊び場（屋内）、多目的室、コンビニエンスストア、ドッグラン	—	○	○
	C-2 付加機能 【事業者 提案施設】	デイキャンプ場、RV パーク、温浴施設、バイクショップ・レンタルバイク、スポーツショップ、食品加工体験施設、調理室、道の駅ピアノ、パブリックビューイング設備	—	—	○
概算事業費			29 億円	34 億円	55 億円

(参考：国道 1 号沿線の近隣の道の駅)

- ・道の駅とよはし（愛知県豊橋市、37,800 ㎡、駐車台数 258 台）
- ・道の駅潮見坂（湖西市、16,000 ㎡、駐車台数 150 台）
- ・道の駅掛川（掛川市、49,700 ㎡、駐車台数 307 台）

3 周辺地域活性化の検討

JR 高塚駅及び遠州灘海浜公園篠原地区を拠点とし、拠点間の交通利便性を向上させることによる活性化を目指す。

- ・拠点① 遠州灘海浜公園篠原地区＋道の駅
多目的ドーム型スタジアム、公園、ToBiO（浜松市総合水泳場）等
- ・拠点② JR 高塚駅
商業施設等の都市機能誘致等
- ・拠点間の交通利便性向上等
シャトルバス運行、農家レストランの出店勧奨等

4 今後の進め方

- ・6 月に公表が予定されている県の野球場基本計画の状況を踏まえ、道の駅の基本計画策定及び官民連携手法導入可能性調査を実施する。（事業期間：2024～2025 年度）
- ・基本計画において整備候補地の絞り込みや事業手法の検討を行う。

5 道の駅イメージ図

図2 上空から

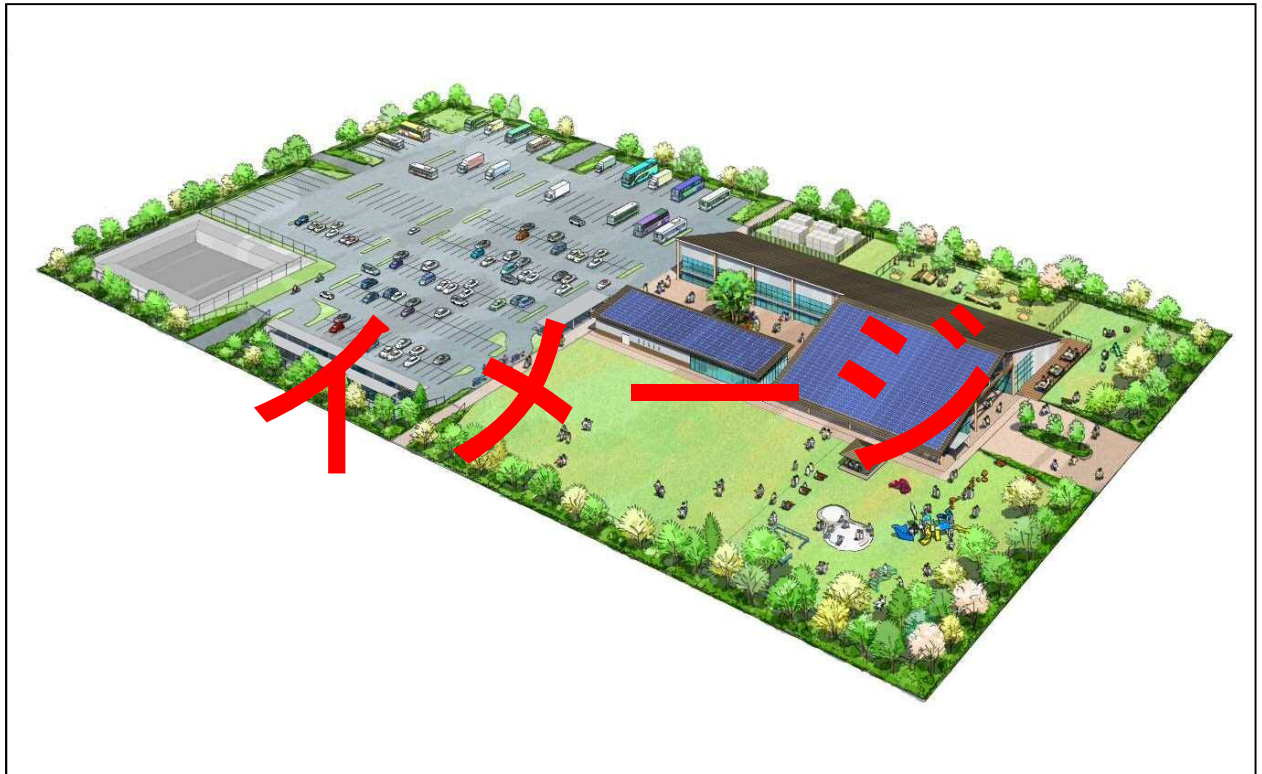


図3 駐車場から



図4 敷地ゾーニング

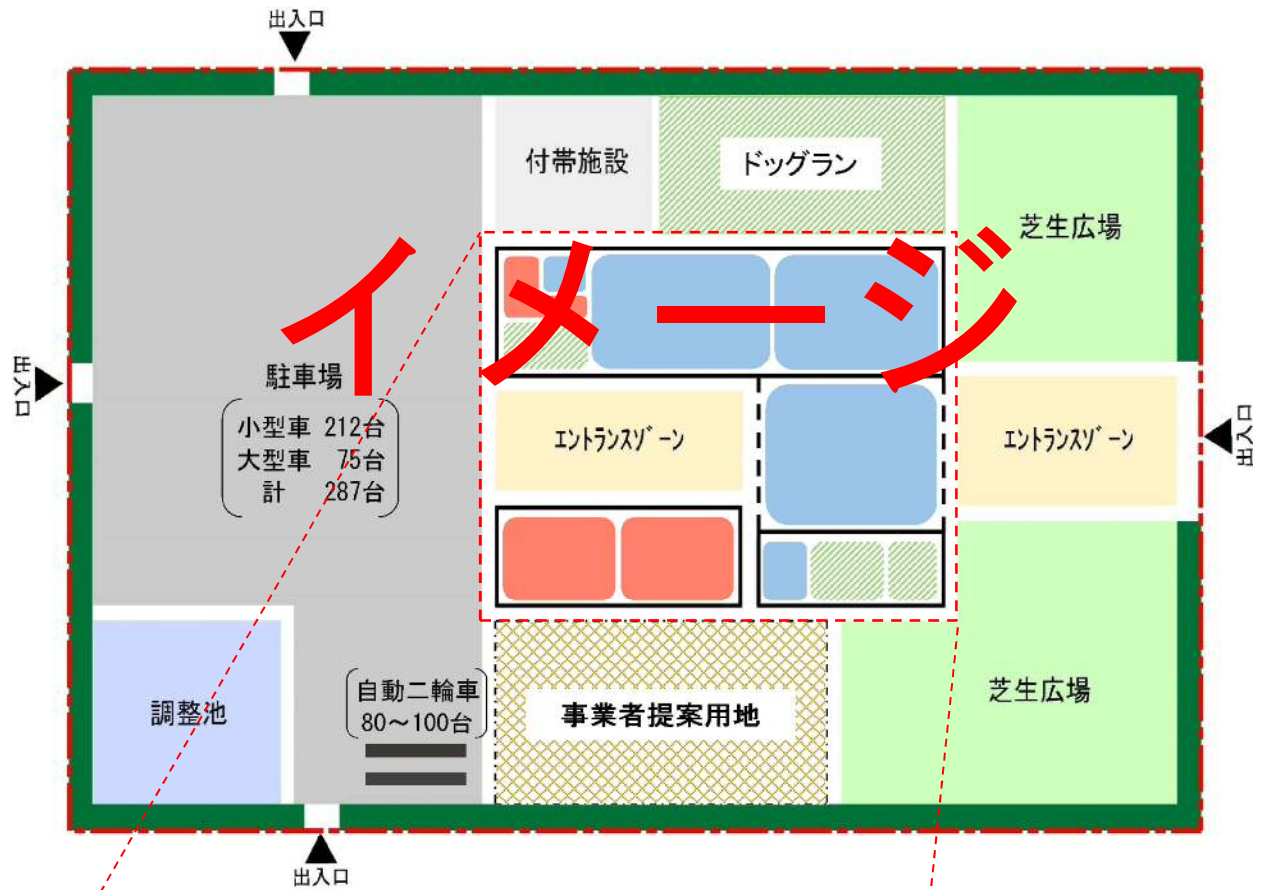


図5 建築物ゾーニング

